

# 鶴岡高専だより

146

2008・7



1年生の校外研修(5月15日)スナップショット

## 目次

入学式式辞	2	制御情報工学科新入生	14
後援会長挨拶	4	物質工学科新入生	15
新教育用電子計算機システムのご紹介	5	専攻科新入生	16
楽しい寮生活	6	編入学生	17
学生会長あいさつ	6	心のケア	17
春の叙勲		OB紹介	18
大沼名誉教授に瑞宝小綬章の授与	7	小・中学生を対象とした	
図書館だより「東雲」	8	環境活動支援事業について	19
平成19年度資格取得者一覧	9	須田利明事務部長を偲ぶ	20
新入生・編入生 一人一言		離着任者あいさつ	21
機械工学科新入生	10	校内体育大会スナップショット	26
電気電子工学科新入生	11	インフォメーション	26

発行 平成20年7月 鶴岡工業高等専門学校広報委員会 〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104  
本校ホームページ <http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/> では「鶴岡高専通信—保護者の皆様へ—」として、毎月タイムリーな情報をお届けしております。

# 入学式式辞

— 大きな飛躍のための助走として —

本日ここに、新入学生の保護者のみなさまのご臨席を賜り、平成20年度鶴岡工業高等専門学校本科および専攻科入学式を挙行できますことは、本校構成員および関係者一同にとりましてこの上ない喜びとするところでございます。

本科および専攻科にご入学されましたみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんのご入学を祝福し、心からお慶び申し上げます。

本日、3年次および4年次への編入学生14名を含め



まして、本科174名、専攻科26名、合わせて200名が本校に入学致しました。この中には遠く海外からの留学生3名も含まれております。

鶴岡高専はみなさんのご入学を心から祝福し、また歓迎致します。みなさんは今日から鶴岡高専の一員でございます。一員であるからには、一員としての自覚と誇りを持って勉学に努め、行動し、そして生活していただきたいと思っております。

保護者のみなさま、ご子息、ご令嬢の本校へのご入学まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げますとともに、本校を進学先に選ばれ、長年にわたり、愛情深く、大切にご養育されましたご子息、ご令嬢を私たちにお預け下さいましたこと、まことに有り難く、心から厚くお礼申し上げます。

お預かり致しましたからには、私たち教職員一同、みなさまのご子息、ご令嬢の教育や研究、生活指導に、誠心誠意努力することをここに約束申し上げます。

鶴岡高専は、産業界からの強い要望に応え、即戦力になりうる実践的技術者を育成する国立工業高等専門学校の一つとして、昭和38年1月に鶴岡市への設置が決定され、同年4月に機械工学科と電気工学科の2

学科について学生の受け入れを開始致しました。

その後、現在の物質工学科の前進でございます工業化学科、機械工学科の改組による制御情報工学科、一般教養科目を担当致します総合科学科が逐次新設され、現在の5学科体制になりました。

平成15年4月には機械電気システム工学専攻と物質工学専攻の二つの専攻から構成されます専攻科が設置されました。

さらに、平成16年4月には本校をはじめ、全国55の国立高専が一つの独立行政法人になり、現在に至っております。

このように、みなさんの鶴岡高専には40有余年の長い歴史がございます。

次に、鶴岡高専における教育につきまして簡単にお話致します。

本科におきましては、一般教養科目と専門科目がそれぞれくさび型、逆くさび型に配置されて、5年間の一貫教育により、効果的かつ効率的な本科教育が行われております。

また、5年間の本科教育の上に、さらにより高度な技



新入学生代表宣誓  
術教育および研究を行うために、2年制の専攻科が設置されております。

本校におきましては、優れた先生方によりまして、質の高い教養教育、専門教育はもちろんのこと、コミュニケーション能力を育成するための国語教育、将来世界を舞台に活躍するために必要な英語教育も重要視され、強化されて実施されております。

さらに、みなさんのような成長期の若者に必要な、健康な心や体、豊かな人間関係、社会生活における規則やルールへの適応性などを養うために、課外活動として

スポーツや文化関係のクラブ活動が強く薦められております。

鶴岡高専におきましては、教室や研究室、あるいは実験室において先生から受ける受動的な教育に加えまして、創設以来40有余年の長きにわたりまして校訓として掲げております「自学自習」にもとづく能動的な教育が行われております。この校訓は、みなさんが自らの意志で、積極的に学び、習い、そして考えることを要請しております。

このような受動的な教育と能動的な自学自習を併せて実行することが、創設以来の本校の教育方針でございます。

このような優れた教育方針の成果と致しまして、鶴岡高専には40有余年の長い歴史と輝かしい伝統に加えて、数多くの優れた人材を社会に送り出してきたという誇る



編入学生代表宣誓

べき、素晴らしい実績がございます。

本校を卒業され、母校鶴岡高専の教授や准教授、助教あるいは技術職員として活躍されている先輩は数多くいます。また、多くの公的機関や会社で偉くなられ、活躍されている先輩も数多くいます。

さらには、高専独自の体育大会、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション、などの東北地区大会や全国大会におきましても、みなさんの先輩たちは多くの優れた成績を残しております。

厳しい入学試験を乗り越えて、本校に入学されました若いみなさんには、無限の可能性がございます。また、ご両親から与えられました優れた才能と実力がございます。みなさんが、その可能性を信じ、自分の持てる才能と実力を活かし、このような数多くの優れた先輩たちに負けないご活躍をされることを、私たち教職員一同は心から希望し、期待致しております。

本科および専攻科にご入学のみなさん、みなさんは将来への夢と希望に胸をふくらませて、本校に入学されたことと思います。ここ鶴岡高専はみなさんの若くて熱い夢を、さらに大きく育てるところでございます。

本校におきまして大きな夢を描いて下さい。そして、そ

の夢をより大きく育て、実現するために、みなさんは日々これ勉学に精進し、またクラブ活動にも努め、友情を育て、一生付き合える多くの友だちを作っていたいただきたい。

さらに、自らの生き方を模索しつつ、豊かな人間性と優れた創造性を身に付けていただきたい。

同時に、みなさんはみなさんを取り巻く社会情勢にも目を向け、関心を持っていただきたいと思います。礼儀正しさや誠心(まごころ)のような、日本的な良さが失われ、精神面において深く悩んでいる日本の現状、地球規模の環境汚染や温暖化が進行し、また宗教や民族間の争いが絶えず、毎日多くの貴い人命が失われている世界の現状に目を向け、関心を持つことも忘れないでいただきたい。

みなさんは、これから科学技術について学び、そして深く関わっていくこととなりますが、この科学技術は人々の日々の生活を楽に、そして豊かにするという大きなメリットと、一つまちがえば世界の平和と安全をおびやかす、人類の幸福と繁栄を破壊してしまうという大きなデメリットを合わせ持っております。みなさんは、この事実を心のどこかにとどめおいて、折にふれて思い出していただいて、これからの日々の勉学に努めていただきたい。

私たち教職員一同は、みなさんの大きな夢の実現をお手伝いすべく、みなさんの教育・研究、そして生活指導に誠心誠意努力する所存でございます。みなさんは、私たち教職員を心から信頼していただいて、豊かな自



専攻科学生代表宣誓

然に恵まれ、歴史と文化の香り高い、この鶴岡の地にあります、みなさんのための鶴岡高専におきまして、楽しく、生き生きと、そして心豊かに、充実した、有意義な学生生活を送っていただきたいと心から希望し、期待して、校長式辞と致します。

平成20年4月6日

鶴岡工業高等専門学校長

横山正明

# 後援会長挨拶

誇れる伝統と人づくりをめざして



後援会長 原田昌彦

平成20年度、鶴岡工業高等専門学校に入学し、新たな旅立ちを迎え心躍る子供達、そしてそれを見守る保護者の皆様、ご入学誠にありがとうございます。

また、鶴岡工業高等専門学校後援会に対し、その趣旨をご理解いただきご入会していただきましたことに、深く感謝とお礼を申し上げます。

本校は、独立行政法人化になりましてから5年目を迎え、今まで以上に独自性と特色を発揮しながら、どんな職場でも、どんな仕事でも、そこに無くてはならない人間作りを目指した高等教育機関として、進化を続け社会に寄与しております。もの作りの中心となる技術者を若いうちから育てる高専の役割は、これまで以上に重要になります。高校以外に進路の選択肢があることも、社会の多様化に大切とされております。就職希望の本科卒業生の就職率は、大学を上回る100%に達し、即戦力となる高専卒業生への企業の評価は高いとされております。

鶴岡高専後援会活動は、教育環境の向上に資することはもとより、学校側には、子供達にとって安心して信じられる教師や学校作りをお願いし、保護者からも大きな信頼を得られるよう努めて参ります。

学校生活では県内外の友人、また、年齢に幅があり、そのときそのときにいろいろな人と出会い、相互交流で育った大きな楽しみや、関わり合ったことが思い出になり、社会に出てからのエネルギーとなって一生懸命になれるところでもあります。

最後に、毎年各地で開催されます地区別保護者会につきましては、子供達との会話を通してそれまで気がつかなかった事への発見をし、保護者の皆様からの積極的な参加をしていただき、ご意見、ご要望等の見直しを進めながら後援会活動に反映させて参りますので、一層のご支援をお願いいたします。

## ◎役員名簿

会 長	原 田 昌 彦(5B)		
副 会 長	後 藤 保 喜(5I)	佐 藤 幸 一(4M)	佐 藤 伸 一(4B)
理 事	菅 原 二 三 男(5M)	渡 部 恵 美(5I)	白 幡 美 枝(4I)
	蛸 井 恵 美(4B)	今 野 広 美(3M)	中 村 祐 子(3E)
	落 合 孝(3I)	阿 部 寛(3B)	星 川 英 樹(2M)
	伊 藤 康(2E)	田 村 喬(2I)	佐 藤 徹(2B)
	加 藤 良 哉(1M)	坂 井 修 士(1E)	舟 腰 秀 樹(1I)
	斉 藤 豊(1B)		
監 事	叶 野 仁(5E)	佐 藤 淑 子(4E)	須 貝 正 人(3I)

## ◎地区別保護者会会長

鶴岡・田川	酒田・飽海	新庄・最上
佐 藤 幸 一(4M)	松 本 博 彰(3M)	二 戸 孝 一(4E)
山形・村山	置 賜	新 潟
斉 藤 正 一(5M)	金 子 隆(5B)	斎 藤 良 茂(5I)

(M-機械工学科、E-電気(電子)工学科、I-制御情報工学科、B-物質工学科) (敬称略)

# 新教育用電子計算機 システムのご紹介

総合情報センター  
鈴木 徹



## 1. システム更新にあたって

本年4月から「教育用電子計算機システム」が全面更新され運用開始しましたので、概要をご紹介させていただきます。

本校に電子計算機室(現総合情報センター)が開設され、本格的な情報処理教育が開始されたのは昭和49年4月のことであり、今回のシステムは初代から数えて6台目に当たります。今回の更新は平成14年度以来5年ぶりとなり、平成24年度までの5年間運用する予定です。

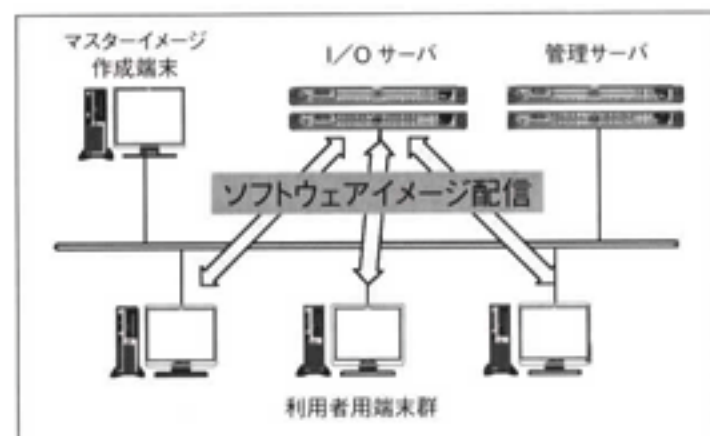
情報処理システム技術の分野は電子デバイス等の進化と情報通信技術との融合も相まって、その勢いは加速度的であり、年々歳々進化を止めない分野において、5年間のシステム運用というのは、実年月以上に長い期間です。導入当初最新ののものであっても、数年後には陳腐化してしまいかねないものですが、学生が進学・就職先で求められるスキルを習得するのに必要な環境を、最低5年間安定して提供できるものを用意するのが我々に与えられた使命です。併せて、“使いやすく”、“教えやすく”“管理しやすい”こともシステム選定において重要な要素でした。

## 2. システムの特徴

今回のシステムは前回に引き続きネットブート型のシンクライアント(ThinClient=薄い端末)システムが採用されました。シンクライアントと言いますのは、様々な方式がありますが、今回導入されたものをごく簡単に言えば「内部記憶装置=ハードディスクを持たないコンピュータ(以下、端末と称す)と、複数のサーバ、高速通信回線で構成されるシステム」のことです。端末は入出力に関わる必要最小限の機能のみ(出力機能、入力機能、メモリ)を搭載していて、これがThinClientの由縁です。しかしながら、これだけでは当然ながら機能しないため、全ての端末は高速通信回線によりサーバと結ばれ、OSを含むソフトウェアはすべてイメージとして端末に配信されてメモリ上に展開されます。この部分が「ネットブート(通信回線経由の起動)」の由縁です。アプリケーションソフトも多数搭載されていますが、それらもオンデマンド(必要

に応じて必要なタイミングで)でサーバから配信されます。

とは言え、電源を入れるとごく普通にWindows Vistaが起動しますので利用者はシステムの特異性を意識する必要はありません。



ネットブート型シンクライアント方式の概略図

この方式はシステムを正常に維持しやすいので、当センターのように不特定多数の利用者が、毎回異なる端末を異なる時間帯に利用する、と言った環境に最適です。

運用開始以来、本システムは狙い通り、大きな障害もなく、安定して動作しています。

## 3. 終わりに

5年前は、シンクライアントという技術の認知が進み、優位性は認められつつも、Windowsの起動・管理においては未成熟な部分が多かったため、全国的に見ても採用している学校は少なく、先進的なトライでした。今では当センターのような施設においては主流と言っていい方式に育ちましたが、発展途上の技術故、様々な問題に直面し、克服したり、妥協しなければなりませんでした。

今回のシステムは技術の進化と熟成の度合いが増し、さらにハードウェアの性能向上も相まってより一層安定性・実用性に富むものになっています。導入に当たっては、我々も5年間の経験を踏まえ、押さえるべき勘所が判っていたことも大きかったと思います。

最後に今回のOSはWindows Vistaを採用していますが、シンクライアントとしては全国高専で初の導入になります。最新の環境を最新のパソコンで提供でき、我々も嬉しく思っているところです。

## 楽しい寮生活

寮生会長4年  
大類 嘉平



### 1. 新入生の皆さんへ

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。私達が生活している鶴鳴寮は教育寮となっており、規則正しい生活や自主学習の時間を身につけることができます。鶴鳴寮の寮訓は「明・厳・美」であり、思いやる心、己に克つ心、品位を大切にすることという意味です。寮生はこれに沿って毎日の生活を送っています。楽しいイベントもあるので多くの友人と有意義な生活を送ることができます。たくさん先輩方や友人との生活を送ることで他では学ぶことのできない貴重な体験ができます。

最後に楽しい寮生活を送るためお互いにルールやマナーを守り最高の寮生活を送っていきましょう。

### 2. 主な行事

#### ☆クリーン作戦



今年度はクリーン作戦を2回行いました。1回目は、毎年4月に町内会の皆さんと協力して行う学校周辺のゴミ拾いです。2回目は暁登山が4年連続、雨で中止になっているので、今年度は代わりに学校敷地内の清掃活動を行いました。初めて実施した行事でしたが、たくさんの方が参加してくれて一生懸命ゴミを拾ってくれたのでとてもきれいになりました。また、スムーズに動いてくれたので時間内に終わることができました。参加してくれた皆さんありがとうございました。2度のクリーン作戦の多くの参加者を見て、寮生のボランティア精神の強さを感じました。

#### ☆避難訓練



年に2回行います。今年から新しく緊急地震速報の機械が寮に設置され、早朝にサイレンと「地震がきます。10・9・8…」で目覚めそれぞれの仕事や避難経路を確認して、万が一の場合に備えます。

#### ☆寮祭

毎年9月に行われるみんなが楽しみにしている行事です。各部毎に分かれて、それぞれが模擬店を出します。寮生はもちろん通学生や地域の方々も来て楽しんでくれます。

#### ☆寮生体育大会

毎年12月に体育館で行われます。競技はフットサル、卓球、バレー、相撲の4種目で、チームは各学科毎に編成されます。普段は関わりのない人とスポーツをすることで学年に関係なく友好の輪が広がります。

## 平成20年度 学生会長あいさつ

機械工学科4年  
安達 樹 厘



この度、今年度の学生会長に就任いたしました4年機械工学科の安達樹厘です。思えば、入学する前からこの名前だけで女性だと思われながら入学し、高専での様々な試練を経て、今このような役職に就任できることを心から嬉しく思います。さて、まず今年度の自身の抱負としては、僕の中で一番の目標としている、自分からただ行動するのではなく、人を生かすことのできる人間になりたいと言うことです。活かすのではなく生かすのです。今までは学年が低く、自分自身が先頭に立つことはあり

ませんでした。ですがこれからは僕たちの学年が中心となって行事などをこなしていかななくてはなりません。そんな時に先頭にいる人間として大事なものは、正しい指示で上手く周りの人間を動かせる、つまり活かせること…なのですが、僕は参加・協力してくれる皆さんが生き生き楽しくなければ意味が無いと思います。そのため活かす、ではなく生かすなのです。楽しくできる間は本気になれていないとも言いますが…学生会全体としても、このように学生の皆さんが生活しやすい学校にできるよう努めていきますので期待して下さい。

つきましては、皆さんの協力が必要不可欠な行事であり、年間を通して最大のイベントである文化祭についてこの場をお借りしてお話させていただきます。まず、学生の皆さんの中から文化祭を動かしてみたい人を募り、文化祭実行委員会を設立します。自分の考案した企画で学校を湧かせてやろう、裏方だったらできそう…など、多くの人に参加してほしいと思います。夏期休暇の前には構想が練り終わり、休暇後にはすぐ準備に取り掛かれるように迅速な行動で頑張りたいと思います。

さらに、新入生の皆さん、少々遅くなりましたがご入学おめでとうございます。先日新入生に「高専生活楽しいか?」と尋ねてみたところ、元気よく「はい!」と返事してくれました。特に高専に入学して何が良かったか聞くと「寮生活が楽しいです」だそうで…通学生に聞くと「今のところ楽しいです」との曖昧な答えが(笑)。

若者には地球の未来を築くために頑張してほしいところです(僕もまだまだ若いのに何を言うか)。個人的に高専に入学して一番学べたことは、つらい時の対処方法と、「何とかなるさ」の現代人的考えで行動しているとその程度の結果しか返ってこないと言うことです。高専での生活が四年目に突入し、卒業まで半分を切ってしまう、これから自分が社会に出て何ができるのか不安になることもあります。だけど、高専の苦行(笑)を乗り越えれば、入学当初と比べ確実に成長している自分を実感できます。なので挫けずに皆さん頑張って下さい。社会に出たらこんなもんじゃないよ?お父さんお母さんは頑張っているんだ!とまあ、この辺りでお暇させていただきます…長々と失礼いたしました。

## おめでとうございます 本校の大沼名誉教授に 瑞宝小綬章の授与

平成20年度政府の春の叙勲で、本校の英語科の大沼浩名誉教授に「教育研究功労」により瑞宝小綬章が授与されました。心からお慶び申し上げます。本校関係者では阿部光雄元校長について5人目、鶴岡高専が着実に評価されているあかしでもあり、本校としても喜ばしいかぎりです。

大沼先生は、1928年、山形県のお生まれで、東京大学文学部英文学科卒業後に山形県立高校教諭を経て、1964年に本校講師に採用され、助教授・教授と昇任し、その間、1979年から2年間、一般科目主任(現在の総合科学科長)を勤められ、1992年に定年によりご退職なさいました。本校は同「28年にわたる教育・学術上の功績」にたいし名誉教授の称号をお贈りしました。また本校在任中に山形大学でも6年間教鞭をとられ、退職後は高崎商科短大教授に就任されました。

英語科の先生として、「学校の格を測る指標

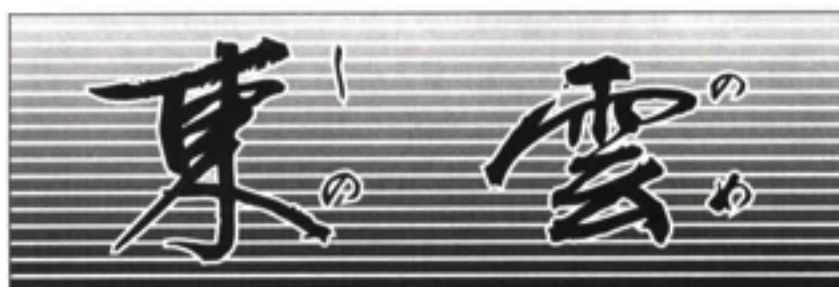
がある」とすれば、語学の水準は、必ずその一つに数えられる」という信念で教育に当たられ、特にL1教育の設置や外国人講師の招聘に力を尽くされました。

研究者としても、時事英語に関する研究論文、高専の英語教育への提言、英語教科書の編集等数え切れません。特筆すべきは、庄内地方の地名に関する研究で、従来の言語学的知識・感覚を欠いた解釈を批判し、『庄内地名辞典』(2000年、雪山杉荘書房)他にまとめられ、学問的に高い評価を受けています。

私個人としては、大沼先生が研究紀要委員長の時、私の英文要旨に完膚無きまでに朱を入れられ本当に勉強になったことや、酒の席で従来の柳田民俗学による地名研究の弱点を懇切丁寧に教えられるなど楽しい思い出があります。

大沼先生は、この5月に本校に立ち寄られ「長年お世話になった鶴岡高専の方々に感謝したい」とごあいさつがりましたが、感謝するのは鶴岡高専の方です。これからもお元気でご活躍のほどをお祈りします。

教務主事 山内 清



## 図書館だより No.37



図書館長  
小谷 卓

### 図書館で「環境問題」の本を読み、 そして行動してください

昨年度の東雲に「図書館を散策してください」と呼びかけましたが、昨年度(19年度)の学生の利用数が、前年度に比べて増加したことは大変うれしく思っております。ちなみに、貸出人数は4042人で、409人増、貸出冊数は7381冊で589の増となっております。一人当たりの貸出冊数は一人当たり9冊となっております。今年度は更なる目標を掲げて「1人10冊以上」を目標に図書館をおおいに利用していただきたいと思っております。

私は長年、環境問題に関わってきているので、環境関係の本と分析化学関係の本を中心に見たり借りたりする機会が多いのですが、先日「環境」というキーワードで図書検索していただいたところ、570冊の本があることが分かりました。先ず思ったことは、昔図書検索と言えば図書カードによる検索で1枚1枚探したことを思い出し、便利になったものだと感心させられました。ついでに「環境問題」で検索したら149冊、「地球温暖化」で11冊、「水問題」で50冊、「ゴミ問題」で19冊、「エネル

ギー問題」で37冊あることが分かりました。全体の蔵書数から見ると環境関係の本は1%にも満たない数ですが、ぜひ環境問題に関心を持って読んでもらいたいと思います。

今、「もったいない」を世界に!と呼びかけているケニアの環境活動家でノーベル平和賞受賞者のワンダリ・マータイ博士がたびたび日本生きて講演を行っておりますが、この方はアフリカに30年間で3000万本の植林(グリーンベルト運動)を行った事で有名です。講演でこんな話をしておられました「小鳥ハミングバード」の物語で、ある時、森が火事になりすべての動物が森から逃げ出した。動物たちは燃えさかる森を絶望的にみただけだった。だがハミングバードだけは違った「何かをしなければ」と、火の中に何度も水を落とし、必死で火をけそうとした。周りの動物たちは「何をやってるんだ、そんな小さな体で水をまいてもムダだよ」と言った。しかし、ハミングバードはこう言った「私は私にできる最善のことをしているまでだよ」。私はこの話に感動した。学生諸君に私は「小さな1人の行動、自分たちにできる最高の行動を!」と呼びかけたい。これが環境問題を含めた全てのことを解決してくれると確信する。

今年度の学生図書委員名と平成19年度の図書ベスト10、そして開館日と閉館日をお知らせします。

学生図書委員皆さんの活躍を期待しております。

◎19年度学生図書委員名簿

年	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科
1	後藤 幸恵	五十嵐 拓	今井 優貴	本間 充瑠
2	荒木 悠志	押切 舞	齋藤 悠	阿部 博弥
3	松本 朋之	土門 豊	渡會 慶次	真山 泰治
4	竹田 翔	設楽 堅	バヤラ	村田 健太
5	石橋 雄大	加藤 亮	佐藤 祐典	佐々木麻衣子

#### 平成19年度 図書ベスト10

1. ライブ
2. 平面いぬ
3. レンタル・チルドレン
4. ラスト・イニング
5. 大好きやったんやで
6. 14歳
7. 朝日のようにさわやかに
8. 涼宮ハルヒの溜息
9. 熊の場所
10. イチニツイテ

#### 【開館日と閉館日】

開館日：平日 8時半～20時  
土曜日 9時～17時  
閉館日：日曜日、祝祭日、休業期間、  
学校行事日  
空調設備も整っていますので冬も  
快適です。



平成19年度資格取得者一覧 (クラス( )内は平成20年度のもの)

実用英検 準1級	長岡亮(5I)
実用英検 2級	石塚竹生(5B)
実用英検 準2級	高橋俊太郎(5I)、忠鉢貴人(5I)、大沼知世(5B)、古関美耶(5B)、金子隆明(5B) 鈴木健之(5B)、成田武(5B)、上林彩華(4I)、濃會慶次(3I)、伊藤銘澤(3B) 今野倫子(3B)、林尚人(3B)、松平学幸(2M)、峯田遼(2M)、佐藤郁也(2E) 浅井啓輝(2I)、荒井寛史(2I)、伊藤大介(2I)、遠藤亘(2I)、後藤萌(2I) 斎藤諒介(2I)、進藤絵里(2I)、高橋歌穂(2I)、田村和輝(2I)、廣井絵美(2I) 阿部早紀(2B)、石川大樹(2B)、佐藤優樹(2B)
工業英検 3級	阿部大輔(5B)、石井秀人(5B)、石塚竹生(5B)、大矢康太(5B) 佐々木麻衣子(5B)、佐藤瑠璃(5B)、富樫拓也(5B)、中川和音(5B)
第二種電気工事士	齋藤航平(5E)、高橋聡(5E)、大津慎也(4E)、大輪良高(4E)、小野寺洋介(4E) 齋藤祥一(4E)、齋藤文憲(4E)、佐藤保宜(4E)、須貝柳太(4E)、鈴木洋市(4E) 瀬尾研(4E)、仲條博紀(4E)、二戸寛仁(4E)、三浦祐人(4E)、水口智責(4E) 茂木良太(4E)
電気主任技術者試験 第3種	大矢純平(5E)
基本情報処理技術者	相庭卓(5I)、大場昌範(5I)、石沢裕(4I)、佐藤翔平(4I)
初級システムアドミニストレーター	奥山充(5I)、永岡英里子(5I)
甲種危険物取扱者	荒生勝也(5B)、五十嵐辰也(5B)、石井賢(5B)、石塚竹生(5B)、井上寛(5B) 大矢康太(5B)、金子隆明(5B)、佐藤沙映(5B)、田中秀成(5B)、富樫拓也(5B) 成澤友里(5B)、平田匠(5B)、本間大海(5B)、山田将士(5B)、金拓弥(5E) 今野雄太(5E)、叶野潤(5E)、加藤 亮(5E)、樋田恵佑(5E)、齋藤航平(5E)
乙種4類危険物取扱者	金拓弥(5E)、今野雄太(5E)、秋葉秀一(5B)、阿部奈美(5B)、五十嵐良平(5B) 石井秀人(5B)、大滝翔平(5B)、佐々木亮太(5B)、蛸井俊宏(5B) 長南雄一郎(5B)、中川和音(5B)、成田武(5B)、原田富貴(5B)、廣井千明(5B) 渋谷美保(5B)、高橋竜矢(4M)、富永義仁(4M)、稲村健幸(3M)、太田拓也(3M) 寺嶋陸(3M)、長谷川祥太(3M)、平藤駿介(3M)、真嶋智己(3M)、阿部佳奈(3B) 五十嵐琢人(3B)、石川雅俊(3B)、石沢彰典(3B)、伊藤麻衣(3B)、井上祥宏(3B) 大川裕平(3B)、小野誠也(3B)、工藤一樹(3B)、近藤翼(3B)、今野倫子(3B) 今野涼(3B)、佐藤圭太(3B)、鈴木闘士也(3B)、高橋克彦(3B)、高橋研一(3B) 高橋峻(3B)、長南和樹(3B)、富樫英人(3B)、長瀬大知(3B)、林尚人(3B) 本間祐生(3B)、松浦亜里沙(3B)、真山泰治(3B)、渡部晃(3B)
漢字検定 2級	大滝翔平(5B)
日本語検定 2級	大滝翔平(5B)

# 機械工学科

◆會田 航士

自分の状況をしっかり意識し行動していく。

◆安食 雄太

勉強と部活を両立して頑張っていきたいです。

◆足達 龍輝

自分の理想とする未来のためになる行動をとる。

◆阿部 直幸

勉強と部活を両立し、規則を守って生活します。

◆池田 拓也

文武両道で頑張りたいと思います。

◆井澤 俊樹

社会に貢献できる力を身につけたいと思います。

◆石向 大輔

授業に集中して参加し、予習、復習を頑張る。

◆伊藤 真悟

初めての寮生活でも、勉強と部活を両立させたい。

◆伊藤 泰貴

部活と勉強の両立を目指して頑張ります。

◆井上 大輔

日々の勉強に積極的に取りこんでいきたい。

◆井上 裕樹

赤点を取らないように勉強を頑張りたいです。

◆梅木 尚

自分の目標へ向けて頑張りたいと思います。

◆遠田 涼

勉強と部活の両立。今できる事をがんばりたい。

◆遠藤 才貴

一日一日の授業を大切にしていきたいです。

◆大岩 翔太

勉強面で周りにおいていかれない様に頑張ります。

◆小川 庄次郎

部活で休まず練習、寮では毎日自主勉。

◆加藤 佑太

部活動も勉強も両立させて生活したいです。

◆狩野 博司

将来のために勉強や部活をがんばりたいです。

◆工藤 洸

将来のために勉強を一生懸命頑張りたいと思う。

◆後藤 幸恵

勉強にも部活にも全力で挑む。

◆小林 知洋

日々の生活で、部活と勉強をがんばりたいです。

◆齋藤 一行

高専に入学した意味を考え、今を一生懸命やる。

◆斎藤 大

しっかり勉強し、進級できるようがんばります。

◆寒河江 航平

自分ができる事を精一杯していきたいです。

◆櫻井 啓太

勉強も部活も両立し、よい学校生活をおくる。

◆佐藤 貴仁

優秀な技術者になるため勉強をがんばります。

◆佐藤 宏幹

文武両道を目標にしてがんばります。

◆佐藤 優磨

勉強と部活をがんばります。

◆鈴木 直人

5年間留年せずに、健康に過ごしたい。

◆瀬戸 ほのか

何事にも悔いを残さないよう、全力投球する!!

◆武田 将人

自分の将来のためにも毎日の学習を頑張りたい。

◆橋村 俊希

将来、良い会社に就職できるように頑張ります。

◆田村 臣平

生活リズムをくずさない事と勉強を頑張ります。

◆長岡 弘晃

勉強をしっかりし、日々の積み重ねを大切にする。

◆沼澤 和

きちんと卒業をし、社会に貢献できるようにする。

◆船山 涼平

立派な社会人になる。

◆余語 卓也

勉強と部活を両立できるようにがんばりたい。

◆余語 麻瞳香

できる限りの努力!!と充実した学校生活を送る。

◆和田 裕介

誰かに頼ってばかりの生活から自立する。

◆渡部 翔平

勉強と部活の両立に努める。

# 電気電子工学科

◆茜谷 雄三

勉強と部活を両立し、無事に卒業したいです。

◆秋葉 元気

しっかりと勉強してちゃんと卒業したいです。

◆五十嵐 洸太

日々の生活を大切に、一生懸命勉学にはげむ。

◆五十嵐 拓

未来のために技術を身につけ知識を重ねていく。

◆石井 優大

勉強と部活を両立し、社会に立派に出たいです。

◆伊藤 優

自分が納得できるまで勉強する!

◆稲毛 一昭

復習をしっかりとしたいと思います。

◆岩井 芙美

5年間で勉強も精神的にも成長したいです。

◆榎本 湧哉

鶴岡高専でしっかり力をつけ、就職したいです。

◆大澤 和嵩

文武を両立させ、高専生の誇りを持ち生活する。

◆太田 武

勉強をがんばり、立派な会社に就職したいです。

◆大滝 俊己

勉強をがんばり、立派な社会人になりたいです。

◆大友 恭介

立派な社会人になれるように、頑張りたいです。

◆乙坂 佳輝

立派な社会人になれるように努力していきたい。

◆金内 貴史

一生懸命にベストを尽し勉強します。

◆川上 太彰

高専の看板に恥じないように、学習したいです。

◆昆 憲英

毎日しっかり勉強して、いい職場につきたいです。

◆齋藤 健人

しっかりと勉強して、いい会社に就職したいです。

◆坂井 洋介

様々な知識を身につけ、立派な技術者になる。

◆佐々木 雄都

今自分ができていることを考え、積極的に行動したい。

◆佐藤 慶太

勉強をがんばって立派な社会人になりたいです。

◆佐藤 航平

適当なことをしないで立派な社会人を目指す。

◆佐藤 航也

体調管理をきちんとして生活する。

◆佐藤 貴之

勉強から逃げず、真剣に向き合っていきたい。

◆佐藤 瑞起

高専で勉強し、将来新製品の開発を目指します。

◆志田 恭輔

5年間しっかりと勉強して立派な技術者になる。

◆庄司 秋朗

これから5年間、一生懸命がんばります。

◆竹之木進 純

勉強と部活をうまく両立させてがんばる。

◆田中 一成

勉強と部活を両立して何事も積極的に取り組む!!

◆土屋 燎平

つねに勉強をがんばり、ラグビー部でもがんばる。

◆富樫 康太

鶴岡高専を卒業し、しっかりと就職します。

◆中嶋 宏修

社会のため、人のために役立つ技術者になる。

◆長谷部 義孝

勉強がんばります。

◆島腹 雅人

頑張っ勉強して、東北電力に就職したい。

◆堀 冬由基

立派な技術者を目指して努力していきたいです。

◆本間 健太

文武両道に充実した生活を送ってきたいです。

◆松田 優輝

無事に卒業して立派な社会人になりたいです。

◆宮野 智羽也

今のクラスのみんな全員とっしょに卒業する。

◆山川 陽介

様々な知識と技術を身につけて、立派に卒業する。

◆山口 泰仁

5年間真面目に勉強して立派な社会人になる。

## 機械工学科



### 校外研修に参加して（校長 横山 正明）

講義を担当していないので、日ごろ学生のみなさんに親しく接する機会は少ない。その機会を少しでも多く持ちたいとの思いから、学生行事には積極的に参加している。本科の新入学生を対象にした校外研修もその一つである。今年は5月15日（木）に実施され、昨年までの名勝「十六羅漢」が象潟「蛸満寺」にかわった。

## 電気電子工学科



## 制御情報工学科



本校の記録に残したいと思って、学生のみなさんの写真を撮っている。鳥海山五合目の雪穴の前で、凍えながら撮った学科別の集合写真は、濃い霧のために白っぽくて、見栄えの良さには欠けるが、記録写真としての価値くらいはあるだろうとみずからを慰めている。今年はM科・E科、I科・B科の2班に分かれての見学だったので、分乗したバスの都合で、I科・B科のみなさんの写真が多くなってしまったこと、まことに申し訳なく、お許しいただきたい。楽しい一日でした!

## 物質工学科



# 制御情報工学科

◆阿部 貴穂

満足な生活を送るために自分に対して厳しくする。

◆阿部 勇次

様々な分野の学習で、広い知識と教養をつけたい。

◆阿部 亮矢

5年間、充実した学校生活を送りたいです。

◆五十嵐 健太

真剣に勉強して立派なサラリーマンになりたい。

◆五十嵐 直央

悔いのない高専生活になるようにしたいです。

◆石垣 勝好

周りの人に迷惑をかけずに、懸命に努力したい。

◆板橋 朋彦

寮生活での自己管理をしっかりしたい。

◆伊藤 貴史

勉強時間を決めて睡眠時間を確保したい。

◆伊藤 寛祥

力を入れる時と抜く時のメリハリをつけ努力する。

◆伊藤 凌介

日々の勉強を無駄にしないように生活したい。

◆井上 雅都

将来就職し、立派に自立できるように頑張りたい。

◆今井 優貴

両親のためにも留年しないようにがんばりたい。

◆遠藤 崇江

今まで以上に予習復習を大事にしていきたい。

◆大瀧 恵理

勉強と部活を両立させ、学校生活を楽めます。

◆大瀧 陽輔

留年せず、5年間で卒業できるよう頑張ります。

◆奥山 大地

目標卒業!留年することなく卒業する。

◆小野寺 幸太

日々の授業や勉強を自分なりにがんばりたい。

◆片桐 健弥

努力を重ねて勉強・部活で常に上を目指します。

◆菅 佑大

勉強にも部活にもやる気を持ち取り組む。

◆小杉 史也

はば広い分野に取り組み努力できる人になる。

◆齋藤 優太

プログラミングなどしっかり学んでいきたい。

◆寒河江 倅希

社会の役に立つような人間になりたい。

◆佐久間 文明

これからの5年間を無難に過ごしていきたい。

◆佐々木 美月

一日一日を大切に、自分なりに頑張ります。

◆佐藤 慧太

最先端の技術を開発できるような人を目指す!

◆佐藤 健太

勉強と部活を両立させ、充実した5年間にする。

◆佐藤 義紘

自分なりに精一杯頑張って勉強していきたい。

◆佐藤 椋太

向上心を持って、勉強・部活動に励みます。

◆信夫 直大

ちゃんとした社会人になれるようにがんばりたい。

◆菅原 飛夢

5年間を有意義に過ごしていきたいです。

◆竹田 稔真

社会に出ても使ってもらえる技術を身に付ける。

◆蛸井 博

勉強も寮生活も思いっきり楽しみたいです。

◆成澤 浩太

今を大切に、何事にも本気で取り組みたい。

◆原田 匠

高専の卒業生として恥じない技術者を目指す。

◆半田 直弥

自分の能力、個性を伸ばせるように頑張りたい。

◆舟腰 直美

生活をきちんと5年間学びたいと思います。

◆三浦 祐太

様々なことに耐えられる精神力を身に付けたい。

◆守谷 美希

立派な社会人になれるように頑張ります。

◆山口 俊輔

自分の目標を全うし、高専生として我が道を進む。

◆渡部 史也

5年間を大切に、企業を支える存在になる。

# 物質工学科

◆阿部 拓

社会に出ても恥ずかしくないように勉強に励む。

◆石川 佳南子

勉強をしっかりとやり、充実した生活を送りたい。

◆伊藤 康広

高専生活の5年間、文武両道がんばりたい。

◆太田 優輝

勉強に力を入れ、健康にも気を使い生活したい。

◆熊澤 実

高専で5年間勉学し、社会に役に立つ人になる。

◆小久保 真悟

勉強と部活の両立を目標とし、達成したいです。

◆金 栞

自分の目標を見失わずに卒業目指して頑張る。

◆齋藤 沙紀

夢に向かって勉強できる高専に入学してよかった。

◆斎藤 駿

何事にも恐れず全力で立ち向かっていきたいです。

◆佐久間 匠

部活と勉強を両立するのは大変ですが頑張ります。

◆佐藤 真平

この高専の勉強にちゃんと取り組もうと思います。

◆佐藤 祐歩

将来のために5年間で有意義に過ごしたいです。

◆柴崎 真緒

留年せずに卒業したいので勉強を頑張りたいです。

◆柴田 かほり

勉強と部活を両立できるようにがんばりたい。

◆渋谷 大

留年しないように日々の学習をきちんとする。

◆澁谷 竜明

僕は、勉強と部活を一生懸命にがんばりたいです。

◆庄司 一輝

勉強に部活、文武両道に頑張っていきたいと思う。

◆荘司 俊紀

寮生活を楽しつつ、勉強も頑張っていきたい。

◆白幡 尚泰

勉強と部活を両立させ、充実した生活を送りたい。

◆菅原 武

文武両道を目指し、充実した学校生活を送る。

◆鈴木 太郎

毎日コツコツ勉強して、赤点を絶対とらない。

◆鈴木 裕太

毒を食らわば皿まで。最後までとことんやる。

◆関 亜美

卒業できるように勉強を中心にがんばりたいです。

◆丹野 駿

異郷の地に立ち、自らの夢に向かって自学自習!

◆傳 凧沙

無事に卒業して、社会に貢献していきたいです。

◆東海林 聡

勉強も部活もしっかりやって楽しくすごしたい。

◆土門 千紗

卒業できるようにしっかりと勉強していきます。

◆中村 公俊

高専を無事卒業できるように毎日勉学に励みたい。

◆成田 武弘

勉強と部活をがんばり、そして卒業したいです。

◆難波 浩哉

勉強をがんばり、高専を卒業したいと思います。

◆林 知樹

自学自習に励み、必ず卒業する。

◆伴 弥生

鶴高専はとても良い学校だと思っています。

◆平松 拳也

勉強で遅れをとらないようにがんばりたいです。

◆堀井 彩那

資格を取れるように自分から学習していきたい。

◆本間 康弘

卒業を目指して、苦手科目を中心に頑張りたい。

◆松浦 元

将来のことを考え、勉強に力を入れて頑張る。

◆三浦 美紀

勉強と部活を両立し、夢に向かって努力していく。

◆山川 麻衣

自分の意志で学び夢に向かって努力を惜しまない。

◆渡部 克基

鶴岡高専で、一生懸命勉強して、夢を叶えたい。

◆渡部 剛

部活も勉強も大変だと思うけどがんばりたいです。

# 専攻科



## ○機械電気システム工学専攻

### ◆秋葉 智康

この専攻科の2年間を無駄にしないように、勉強や研究を日々頑張っていきたい。

### ◆安在 克也

今更、頑張ろうと思うことがたくさんあります。後2年与えられたチャンスを十分に活かしたい。

### ◆石垣 要

専攻科生として恥ずかしくないような研究をしようと思います。

### ◆猪俣 靖

ゆっくりとあせらず、マイペースでやっていきたいです。今一番の目標はTOEIC500点以上です。

### ◆菊地 隆

専攻科では機械系にとらわれず、広い分野の知識を身につけ将来への糧にしていきたいです。

### ◆佐藤 健太郎

最近体重が増えてきたので落としたいです。あと研究をがんばりたいです。

### ◆佐藤 千宏

これからも様々なことを学び、充実した生活ができるよう、日々精進する。

### ◆佐藤 勇太

専攻科では多くのことを幅広く勉強して、優秀な技術者になれるように頑張ります。

### ◆佐藤 龍

学費は安いし、学位も取れる。専攻科は最高の環境だと思います。

### ◆高倉 勇樹

自分のペースで自分の身になるような勉強をしたいです。また色々な所に行きたいです。

### ◆高橋 豊

専攻科での目標は、研究で結果を出すことと、TOEICで500点以上をとることです。

### ◆武田 大樹

専攻科でも優秀な技術者になるためにより一層努力していきたいと思っています。

### ◆舟腰 磨結実

目標「TOEIC600点」

### ◆万年 達也

選ぶべき道の標に沿って進んでいけることを当たり前だとは思わないように！

### ◆八畷 悟

専攻科の2年間を有意義なものにするために、一日一日を大事に過ごしていきたい。

### ◆安野 達也

人生楽ありゃ苦もあるさ涙のあとには虹も出る歩いてゆんだしっかりと自分の道をふみしめて！

### ◆矢作 悠

今年の目標は、TOEICのノルマを達成することと、体調管理に気をつけることです。

### ◆渡部 貴史

専攻科の2年間で、社会で活躍できる技術者になれるように頑張りたい。

### ◆和田 祐也

本科のときよりも積極的に勉強や研究に取り組み、2年間を有意義なものにしていきたいです。

## ○物質工学専攻

### ◆井上 裕也

専攻科では、本科で行った卒業研究を引き続き行うので、より密になるようにがんばります。

### ◆加藤 洸

5年時とあまり変化は感じられませんが、卒研の完成とTOEICの500点目指して頑張ります。

### ◆菅井 豪

専攻科は勉強する環境が整っているので、卒研を中心に広く深く勉学に励もうと思います。

### ◆福田 光

研究に終わりはありませんが、昨年から行っている研究を完成できるように頑張ります。

### ◆松浦 千里

研究も勉強もレベルアップ目指してもう2年間頑張ります。

### ◆湊屋 輝明

自分の新たな目標に向かって、研究や自学自習を努力していきたいと思っています。

### ◆横澤 健太郎

これからの二年間で人間として、成人としてより成長できたらいいなと思います。



## 編入生

◎第4学年

### ◆国井 智寛(4M)

私の編入後の目標は皆勤賞を取ることです。初心を忘れず、卒業まで頑張りたいです。

### ◆吉田 紘貴(4M)

予習・復習を毎日行い、授業の内容を理解して、残り2年間充実した生活を送りたいです。

### ◆石川 一樹(4E)

日々の授業をまじめに取り組み、留年することなく卒業できるように頑張るとともに、学園生活を楽しむ。

### ◆泉 優輝(4E)

4年生は勉強、テスト、検定をメインに取り組んでいき、将来の夢の実現をできるように能力を蓄えていきたいです。

### ◆長田 有人(4E)

私はこの鶴岡高专で過ごす2年を第一に勉強に費やしていき、進路実現を目指していきたいです。

### ◆長沼 萌壮(4E)

日々の予習・復習をしっかり行い基礎逆力と実践力を身につけ、全単位を修得し皆勤賞で卒業する。

### ◆齋藤 翔馬(4I)

高专に編入学してよかったと思う。毎日が新鮮で楽しい。勉強は難しいけど頑張っていきたい。



### ◆菅原 一樹(4I)

高专の授業はベースが速く難しい内容ばかりなので、ついて行けるように頑張ります。

### ◆長南 悠平(4B)

現在、高专ライフの出発点。目指すところは2年後の終着駅。故に、荒法師の如く頑張ります。

### ◆本多 涼一(4B)

卒業まで2年を、勉強と部活を両立させて楽しく、有意義に過ごしていきたいと思います。

### ◆村山 翔一郎(4B)

クラスの人達が優しい人ばかりなので、楽しい高专生活を送れているのでとても充実しています。

## 新留学生

◎第3学年

### ◆イクラム(3M)

3Mのワン・モハマド・イクラムです。マレーシアからきました。勉強をがんばりたいです。

### ◆ワン(3E)

私はカンボジアからの留学生ワンシットと申します。これから勉強や部活などで頑張っていきます。

### ◆サンティ(3I)

チューターに助けてもらい学生生活を送っている。将来、大学編入し夢が叶うように頑張りたい。



## 心のケア

保健管理センター長  
佐藤 義重



私は、保健センター長に就任して2年目となります。専門は知能制御工学であり、メンタルヘルスに関する分野は専門ではありません。最近では、不適應や学生のケアに対し、専門的な高度な対応が求められてきています。本校では、心の専門家のカウンセラーが学生相談室に週一回来校し、学生の心のケアに対応しています。

毎年4月から5月には、健康診断が実施されます。最初は身体計測と視力・聴力検査がおこなわれ、勉学に支障のないようにという目的で行われています。これは、心身の身である体についての健康をチェックすることになります。

つぎに、教員への心のケアについて考えてみます。教

員は教える、指導するといった教員側の立場で、学生に対応しようとはしますが、学生の目線で、学生を理解するスキルを磨く必要があります。そして、そのスキルアップに繋げるメンタルヘルスの研修等も必要と思われます。さらに、指導が管理的にならないように、多少余裕を与えて学生とのコミュニケーションを密にし、対話力やカウンセリング能力を身につける必要があります。このことにより、「信頼される教員」、「話せる教員」として学生との距離が近づき、予防的な段階での心のケアが可能と思われます。

高专在学中の5年間は、心身の完成期として成長過程の中で重要な意味を持っており、高等教育機関の中でも学生の生活指導を重視し、教科指導、学寮や課外活動における教員の情熱と適切な指導に時間を費やしています。このことが、世間の評価として、学部卒と比較すると、当たり外れの少ない物作りのできる技術者を輩出している所以ではないかと思われます。団塊世代の技術者の後継者として、日本の将来を担うことができる学生を育てるべく、努力したい思いで一杯です。

# OB紹介 —活躍する本校卒業生—

## 卒業して 40年になります

株式会社 山形共和電業  
常務取締役工場長  
安孫子 初  
(昭和44年電気工学科卒業)



私は卒業と同時に東京の日本コロムビアに入社しましたが、半年で山形テレビの設立と共に故郷に戻り約2年間勤務し、その後東根市の山形スリーエムに3年間お世話になりましたが、縁があって村山市に進出した(株)山形共和電業に昭和49年に入社して現在に至っております。この様に若い頃には色々な会社に勤務しましたが、各社各様の企業風土が有りこの経験が現在では様々な面で役に立っております。

さて弊社は、皆様ご存じ無いかと思いますが、親会社の(株)共和電業は東証1部に上場している「安全と安心を提供する」計測器メーカーです。(株)山形共和電業は子会社として昭和49年に設立し、現在は東根市大森工業団地に移転して250名の規模で生産しております。製品は国内トップシェアのひずみゲージが年間約300万枚、それに圧力計、荷重計加速度計等のセンサを多数生産しております。最近では自動車の衝突試験に使われる小型加速度計や1000℃近い高温でのひずみ測定に使われるカプセルゲージの需要が増えております。山形共和電業独自でも東北大等との共同研究でセンサの開発を進めております。この様な状況で戦力となる生産技術者、開発技術者が更に欲しいと有ります。弊社には山工工学部卒の技術者は10人程有りますが、今のところ鶴高専は私一人だけと寂しい状況です。是非、在校生の皆様方には当社を見学頂きご応募頂きたいと思っております。ホームページでもご覧になれますので宜しくお願いします。

私が高専に入学した頃は井岡の校舎は建設中で有り、数ヶ月間駅前前の仮校舎で勉強をしておりました。寮での共同生活、市内での下宿生活、そこで色々な方との出会いが有り、今でも二ヶ月に一度位は鶴岡を訪れております。最後に貴校の益々のご発展をお祈りして失礼致します。

## 「地球に優しい テクノロジー」をテーマに

山形東亜DKK株式会社  
開発部 開発技術課 課長  
水口 人史  
(平成3年 機械工学科卒業)



山形東亜DKK(株)は、環境・プロセス分析装置のメーカーです。環境分析装置メーカーといえば、最近の環境問題の影響もあって好況なイメージを持たれる方が多いのですが、安全性やコスト、性能等に関するお客様の要求という観点では他の業界と変わらず、逆に環境分析装置は、それ自体が利益を生むケースが稀であるという事情も手伝って大変厳しいものがあります。しかし、いまや地球規模の懸案となった環境問題を考えるとき、「時代の要求に即した分析装置を市場に供給し、環境負荷削減に尽くすこと」は環境にかかわる企業の大きな使命であり、その一員として積極的に取り組まなければならないと感じています。

現在私は、自社ブランド製品の開発と産学共同研究業務を担当しております。この2つの業務は相互にリンクしており、共同研究が新しい製品を生み、その製品が新たな共同研究を生むという形で徐々に発展し、近年は工業分野のみならず酪農や農業分野における環境保護に関連した共同研究も進めています。こうして生まれた自社ブランド製品は、インターネット通販(<http://www.y-dkk.com/>)とすることで市場への安価な供給の実現と率直な顧客ニーズの把握にも効果を上げています。また、開発や生産の現場では環境有害物質規制に対応した材料、設備および製造方法の選定や作業者の力量の向上を図るため、資格取得や環境に配慮した生産改善の取り組みを協力工場も含めて全社的に行っています。

### 読者の皆様へ

いま、環境保護は未来に向けて最も優先されるべき課題です。それには日頃から私たち一人ひとりが意識して現状を改善することが不可欠です。小さな積み重ねが豊かな地球をまもる力になります。多くの方々のご協力をお願いいたします。

# 小・中学生を対象とした 環境活動支援事業について

物質工学科 教授  
小谷 卓



## 1. 本事業の概要

本事業は平成20年度 特別教育研究経費(連携融合事業経費)として文部科学省から認められた事業であります。事業の内容は、「小・中学生に対して環境教育・環境活動を指導助言して、環境問題に対する意識の高い生徒を育成する。また、簡単な実験を通して省エネ対策・温暖化防止対策を教える。そして社会教育の一環として学生を積極的に参画させることにより高専の地域貢献を促進する。」となっております。

本学科では既に、中学校への訪問実験などは継続して実施しているところではありますが、本事業では、特に、地球温暖化防止のための省エネ、リサイクル等を重視した環境教育を視点にして、図に示したような県内小・中学校、教育委員会および鶴岡市環境部などと連携して行っていくものであります。

## 2. 事業の取組内容

本事業では以下の四つの取組を行います。

### 1) 小・中学生への環境調査・保全活動の支援と発表会の実施

小・中学校における環境調査研究活動の実態と支援ニーズに関する調査を行い、支援可能なニーズに対して教員および本校学生による支援を行い、結果の発表会を行う。

### 2) 小学校への環境出前授業の実施

小学校の理科あるいは総合学習の時間を利用して「木炭電池の作製」「繰り返し使える携帯カイロの作製(ヒートソリューション)」「廃油からの石鹸作り」「牛乳パックからハガキを作る」「河川水等の汚染測定(COD等)」等の簡単な実験を通して、実験の楽しさ・不思議さを体験させ、環境・エネルギー・リサイクル等の環境問題について理解させる。

### 3) 夏休みリサイクル教室の実施

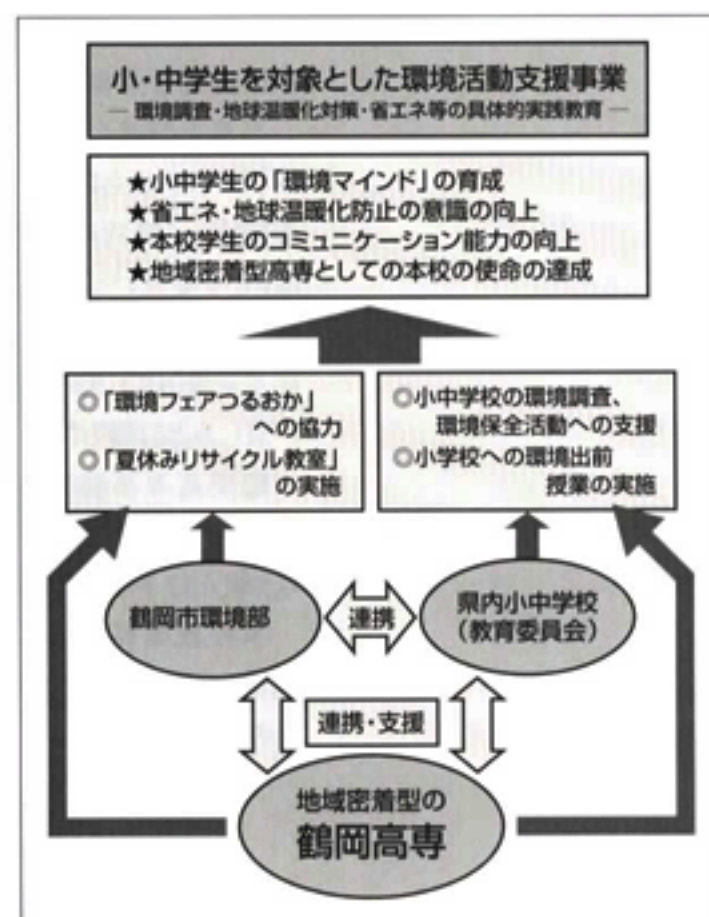
主に小学生を対象に、夏休みを利用して、「牛乳パックを用いた紙はがきづくり」等身近な廃材の機能再生を体験させる。また、ゴミの分別回収などのリサイクルシステムを学習することにより「もったいない運動」の意識を高め、環境問題への関心を引き起こさせる。

### 4) 「環境フェアつるおか」への協力

鶴岡市で開催されている「環境フェアつるおか」において、本校は、実行委員として参加し、様々な人的協力と出展協力を行ってきた。今後はこれを拡大して「小・中学生への環境調査研究活動の発表会」、「子どもたちのアイデアを生かした省エネ提案」、「省エネナビやワットチェッカーを用いたエネルギー節約の具体的実践」等を行い、地球温暖化防止のためにできる実践、省エネをアピールする。

## 3. まとめにかえて

これらの事業を通じて、参加小・中学生は体験・実践の喜びや感動を高専教員および学生と共有することとなり、地球環境保全の意識の高い、次世代を担う小・中学生の育成に結びつくと思っております。また、地域密着・地域連携を謳う本校の使命として、県や市主催の行事等を連携して行うことは重要なことであり、本事業の実施は、地域からのニーズに応えられる「鶴岡高専」の存在感を内外に示すことになると考えております。





## 須田利明事務部長を偲ぶ

校長 横山 正明

須田利明事務部長が平成20年5月18日早朝に脳こうそくのために荘内病院において急逝されました。14日早朝に入院されて、わずか4日、55才の若さで急逝されてしまいました。

「生ある者はいつか必ず滅びる」、これは人の世の定めではございますが、須田部長のあまりにも若すぎる、あまりにも早すぎる、突然の訃報に接し、大きな驚きと深い哀惜の念を感じております。

須田部長は今日まで30有余年の長きにわたりまして文部行政に携り、数々の優れた業績を残され、その充実発展に多大なる寄与をされ、貢献されてきました。

昭和50年4月の千葉大学教育学部勤務を皮切りに、文部省、総理府、文部科学省、国立教育会館、国立婦人教育会館、国立オリンピック記念青少年総合センター、国立青年の家、などにおきまして数々の要職を歴任され、2年前の平成18年4月に山形大学総務部総務課長、翌年の7月に同総務ユニット長になられました。そして本年4月に私たち鶴岡高専の事務部長になられました。その部長が就任わずか1ヶ月半で急逝されるとは、だれが予期したでしょうか、本当に残念至極でございます。

高専をとりまく状況がますます厳しさを増してきております昨今、須田部長は本校のこれからの充実発展にはなくてはならない部長でございました。初対面のときに、「鶴岡高専のために、これから精いっぱいがんばります!」と元気いっぱい、やる気いっぱい、声高らかに決意表明されました。私を含めまして、教職員全員が部長の力量を信じ、部長の力量に大いに期待しておりました。その部長を失ってしまいましたいま、私たち鶴岡高専の構成員と致しましては限りない哀しみと口惜しさの念に包まれております。

鶴岡高専事務部長の職は1ヶ月半というきわめて短い期間ではございましたが、その期間中に学校運営の改革、建物全般の改修工事、等に積極的に取り組んで下されたこと、まことに有り難く、心から深く感謝申し上げます。

本校教職員一同は、須田部長の急逝という大きな悲しみを乗り越えて、今後学生の教育と研究指導に精いっぱいがんばることをお誓い申し上げて、追悼の辞と致します。

# 離任しました



前事務部長  
**島田良雄**  
(現木更津高専事務部長)

平成16年4月1日に赴任して以来、四年間という長い間お世話になり本当にありがとうございました。振り返って見ますと、この四年間には、良い事も悪い事もいっぱいありましたが、全体を通じて感じますことは、鶴岡は、私にとって本当にいい所でありましたし、仕事に関しても楽しく仕事をする事が出来ました。これも偏に、皆様方のご支援、ご協力の賜物であり心から感謝申し上げる次第でございます。本当にありがとうございました。

なお、鶴岡高専、庄内鶴岡で過ごしたことは、私にとっての一生の思い出であり、生涯忘れることの出来ないものであります。可能な限りこれからも鶴岡高専を応援していきたいと思っております。今後ともよろしくご指導の程、お願いいたします。

最後に、鶴岡高専の益々のご発展と皆様方の更なるご活躍、ご健勝をお祈りいたします。



前総務課長  
**小林正行**  
(現東北大学病院経営管理課長)

平成17年4月に着任し、会計課長を2年、その後総務課長として1年、計3年間大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

鶴岡を離れて2ヶ月が過ぎましたが、色々な事が思い出されます。着任最初の冬は、大雪となり雪かき作業には苦勞しました。また、鶴岡最後の冬も雪に悩まされました。名前の如く‘雪’・‘行?’が付きまとった事が最初に浮かんでおります。皆様のご理解・ご協力を得ながら元気に過ごすことが出来、ありがたく思っております。ただ、校舎改修等大規模事業が控えている中で、最後まで見届ける事が出来ず心残りになっております。

これからも、皆様の団結力により、鶴岡高専がますます発展する事を祈念いたしまして、離任の挨拶とさせていただきます。



前総務課人事係長  
**高橋勝俊**  
(現山形大学小白川事務部係長)

平成17年4月から、専門職員(企画調査担当)として1年、人事係長として2年、合わせて3年間鶴岡高専でお世話になりました。在任中は、皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。校長先生をはじめ、教職員の皆様との距離が近いこともあり、学校のために仕事をしているんだと実感でき、充実感を覚えながら仕事が出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

鶴岡を離れて2ヶ月余りが過ぎ、生活のリズムも落ち着いてきましたが、時折、ほぼ毎週通った月山道の色彩を懐かしく思い出しています。

鶴岡高専で特に印象に残っているのは、学生の挨拶がとても清々しいことです。それまでの職場ではあまり経験していなかったことで、私自身、いつも新鮮な気持ちになれました。今後もこの素晴らしい習慣を守っていただきたいと思えます。

最後になりますが、鶴岡高専の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈りいたします。



前総務課図書情報係長  
**齋藤公美雄**  
(現山形大学小白川事務部係長)

これまで、業務の一つとして管理運営させていただいてきた本校ホームページをとおして、高専内での学生の姿や高専周辺の季節の変化等を保護者の方々にお伝えしてまいりましたが、過ぎてみれば月日の経つのは早いもので、3月末日をもって3年間の任期を終え、家族のいる河北町へ帰ることとなりました。

自宅を離れていた3年間にすっかり育ちまくって、今では中学生となった二人の娘達の側で生活できること、湯豆腐のみの夕食から解放されること、手に汗握りながら冬の月山道を往復しないですむようになることは嬉しい限りなのですが、やはり3年もの間お世話になった鶴岡高専を離れることを思うと大変寂しく、毎晩涙で枕を濡らす日々を送っています。

3年間大変お世話になりました。

ありがとうございました <(\_ \_)>。

# 離任しました



前総務課用度係長  
**丸子 浩和**  
(現山形大学地域教育文化学部係長)

平成17年4月より山形大学からの出向という形で3年間お世話になりました。

私は、山形市に生まれ育ち、鶴岡に居住するのは、初めての経験でしたが、教職員の皆さんに助けていただき、無事過ごすことが出来ました。

会計課出納係、会計課用度係、総務課用度係、という職であったために、あまり学生と接する機会はありませんでしたが、多くの皆さんがおっしゃるように、鶴岡高専の学生の礼儀正しさ、特に挨拶の良さには驚きました。

これからも、鶴岡高専で培った知識を今後の仕事に生かし、がんばって行きたいと思います。

最後になりますが、今後の鶴岡高専のご活躍をお祈りいたします。



前総務課人事係  
**加藤 幸**  
(現山形大学農学部事務ユニット  
総務担当主任)

平成17年4月から今年の3月まで、皆様には良くしていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

山形大学に戻って2ヶ月ほど経ちますが、何よりも強く実感するのは、他の方々もよく言われていることですが、鶴岡高専の学生さん達のあいさつの素晴らしさです。廊下や構内ですれ違う度に元気なあいさつをしてくれる学生さん達、そしてそれが鶴岡高専では日常の風景であることは本当に素晴らしいと思います。こうした素晴らしい環境を作り上げた教職員の皆様、学生の皆様、そして保護者の皆様に感謝と敬意を表するとともに、今後ますますのご活躍を心よりお祈りし、離任の挨拶とさせていただきます。大変お世話になり、ありがとうございました。



前総務課人事係  
**鈴木 毅**  
(現山形大学医学部総務ユニット  
人事管理チーム係員)

平成17年4月から3年間お世話になりました。同じ県内とはいえ、月山を越えての異動、距離以上に遠く感じられた事を昨日のように思い起こしました。

主に教職員の方と接する業務に従事させて頂き、学生と接する事はあまりありませんでしたが、学生の皆さんからも毎朝気持ちの良い挨拶を頂き、気持ちよく仕事をさせて頂きました。内陸とはまた違った文化、風土を体感することができ、今後の生活の糧となる事を確信しております。

鶴岡高専の今後の発展を確信しつつ、皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。今後ともよろしくお祈りいたします。



前学生課教務係  
**大木 健太郎**  
(現山形大学医学部学務ユニット  
教務チーム係員)

平成14年10月に鶴岡高専に採用され、5年6ヶ月の長い間お世話になり本当にありがとうございました。

最初に学生係に採用され身近に学生に接することが出来たのは、学校職員として本当に良い経験でした。特に課外活動や学生会、高専祭などで、学生と共に考えたり悩んだりした事は今でも鮮明に記憶に残っています。

鶴岡高専が社会人のスタートでしたが、高専に採用されるまでは鶴岡の事を正直、あまり知りませんでした。5年6ヶ月過ごしてみて、自然にあふれ食べ物もおいしく、とても過ごしやすい環境でした。特に海産物のうまさには強い印象を受けました。

私の場合、また鶴岡高専に戻ると思いますので、その時まで少しでも高専の役に立てるよう違う職場でスキルアップしていきたいです。

これからの鶴岡高専の発展を心より願っています。

# 着任しました



前学生課技術室  
長 俊 広  
(現山形県工業技術センター  
庄内試験場)

平成17年4月に技術職員として採用されて、3年間大変お世話になりました。学生実験や卒業研究でお世話になった先生方をはじめ、技術室の皆様、鶴岡高専職員の皆様誠にありがとうございました。

鶴岡高専では3年間という短い間でしたが、学生実験や卒業研究を通じて多くの学生と出会うことができ、私自身勉強させられることが非常に多かったように思います。元気で活発な学生を多く、採用されたばかりの頃は学生の質問にうまく答えることができず、苦勞したのを覚えています。鶴岡高専で学んだこと、覚えたことをこれからの仕事に役立てていきたいと思っています。最後になりましたが、鶴岡高専の皆様のみますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



電気電子工学科  
御園 勝 秀

着任して約2ヶ月が過ぎ、ようやく高専の様子に慣れてきたこの頃です。私はこちらに来る前は企業の研究開発部門に所属していました。専門は光源と色彩工学です。高専で教鞭をとるに当たっての抱負は、学生が社会に出たときに困らないように羅針盤を持たせることと、専門である光源と色彩の研究を発展させることです。特に、学生にはしっかりした基礎学力を身に付けさせ、物事に取り組むときの姿勢を教授したいと思っています。

鶴岡に来て感じたことは「風が強い街」ということです。冬は下からも雪が降ってくるらしいので、今から気にしています。宜しくお願いします。



総合科学科  
佐々木 良 勝

大学進学に伴い酒田市(旧八幡町)を離れ、東京、福岡、東京と経廻って、今春16年ぶりに庄内へ舞い戻りました。

研究も体が資本です。九州で弓道、自転車、筋トレを始め、特に自転車は年間6,000kmほど走りました。今年も雪が降る前にめいっぱい走るつもりです。また昨春から20年ぶりに剣道を始めたこともあり、本校と小真木原(主に朝陽武道館)で汗をかく一年となりそうです。

文武は両道で一つです。いずれも欠くことなく、学生さんたちと共に健全な高専生活を満喫したいと思います。

まだまだわからぬことだらけですが、あたたかく迎えてくれた皆様のお蔭で何とか過ごせております。

# 着任しました



電気電子工学科  
森谷克彦

この春まで学生生活を満喫し、4月から長年生活していた新潟県を離れ、こちらで勤務することになりました。

学生時代は本当に色々な経験をしてきました。自分が経験、体験したことを次世代の人間(学生)に少しでもいいので伝えていきたいと思います。

また鶴岡はもとより、山形県で生活すること自体初めてのことなので、気候や仕事のサイクルを早く身体にしみこませたいです。

新任、そして新社会人1年目。不慣れなところも多く、至らない点も多いとは思いますが、1日でも早く職責を全うできるように努力しますので、よろしくお願ひいたします。



制御情報工学科  
穴戸道明

とうとう母校に戻って参りました。この事を知った方々からは、「某テレビドラマだ!」と笑われています。

在学中、高専は様々なことを教えてくれました。自分はその受けたご恩を母校に帰すべく、教員として今、帰って参りました。

「制御情報工学、それはメカトロだけを指すのではない、型にとらわれるな」学生には常々そう伝えていきます。「Human & Ecology」のスローガンを掲げ、自らこれまで越えてきた様々な経験をもとに、創造性豊かにかつ、柔軟な発想ができるエンジニアを育成すべく、チャレンジすることの素晴らしさを学生たちに伝えてゆこうと思います。



物質工学科  
森永隆志

3月1日付けで、物質工学科助教に着任いたしました。2007年に学位を取得し、一年間の博士研究員を経ての就任となりますので、教員としては立派な新人です。また、兵庫県で生まれ育ち、大学時代

は京都で過ごした生粋の関西人ですので、鶴岡市民としても新人です。公私共に慣れない環境の中、庄内の豊かな自然と爽やかに挨拶をしてくれる素直な学生達に囲まれ、充実した日々を送っています。

まだまだ経験不足な若輩の身ではございますが、教育・研究の両面において、少しでも皆様のお力になれるよう、精一杯頑張りますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



総務課長  
阿部好子

4月1日からお世話になっております。二十一年間岩手大学で庶務、教務、広報等を担当し、その間一歩も外の機関へ出たことがない箱入り(元)娘でございます。初めての転勤、初めての鶴岡、初めての高専という新たな環境に戸惑いながらも、周りのみなさんに支えられながら楽しく勤務しております。

冬の厳しさの噂はさておき、南北に月山と鳥海山を眺めるこの地で美味しい食材と海や温泉に癒されながら、すれ違いざま挨拶をしてくれる爽やかな高専生のみなさんのため、少しでも多く役に立つ仕事をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



総務課課長補佐(兼 企画室長)  
黒沼宏成

5月1日に山形大学医学部から参りました。本来であれば、4月1日の予定でしたが、3月下旬に体調を崩し、1ヶ月遅れとなりました。年度当初の繁忙期にもかかわらず不在となり、大変ご迷惑をお掛けし申し訳なく存じているところです。

私は、これまで庶務・人事系を主に留学生関係を含む国際交流、営繕関係及び病院の医事関係の経験も積んで参りました。微力ではありますが、これらの経験も生かしながら、本校の発展のために貢献ができればと、日々研鑽を積んでおります。一見、気難しそうに見えますが、結構気さくなんです!!是非に、お声を掛けていただければ幸いです。





総務課人事係長  
丹野 謙治

はじめまして。今年度から鶴岡高専で勤務することになりました。

鶴岡に住むことも初めてなら、人事の仕事も初めてで、4月に着任したときにはどうなることかと思っておりましたが、周りの人たちに助けられながら、また学生の皆さんの元氣な挨拶に励まされながら、何とかやってまいりました。少しずつですが、鶴岡や鶴岡高専の環境にも慣れ、周りの様子もわかってきたように思います。

とはいえ、まだまだ至らない点多々あります。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。



総務課図書情報係長  
長谷川 毅人

4年前に鶴岡市民から自宅のある山形市に戻ったのですが、縁あって再び鶴岡市民となり、4月に図書情報係長に赴任いたしました。

これまで経験のない図書館業務と少々的心得がある情報業務に携わっておりますが、専門用語や取扱に戸惑うことが多く、未だに慌ただしく一日が過ぎてしまう日々が続いております。

至らない点多いかと思いますが、一日も早くスタッフの一員として職務が全うできるよう鋭意努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



総務課用度係長  
馬場 智明

4月1日付けで総務課用度係長に赴任しました馬場と申します。

鶴岡での生活は4年ぶり、懐かしい反面新たな発見もあり楽しく過ごしております。前職でも会計の仕事をしていましたが、高等専門学校の会計はまた違った面もあり、周りの方から教えていただく毎日ですが、高等専門学校の仕事を覚えつつ、前職の経験を生かしより良

い仕事ができるよう頑張りますので、皆様どうぞよろしくお祈りいたします。



学生課寮務係長  
辻 紀彦

4月1日付けで赴任いたしました。高等専門学校での勤務はこの度が初めてとなります。

現在は、学寮に関わる多くの教職員方・学生たちにいろいろ教えていただきながら、学んでいる真っ最中です。学生のようにたくさん吸収したいものです。学生たちは礼儀正しく、学校全体に活気が満ち、とても良い環境と感じております。

本校では、一日も早く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

縁があって鶴岡での勤務は二度目となり、独特の風土や季節ごとの美味しい食べものなど生活面での楽しみも多いです。

これからいろいろお世話になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学生課技術室  
米澤 文吾

今年度から新規採用で鶴岡高専に勤務することになりました。

物質工学科の学生実験、卒業研究のサポートが私の主な仕事内容ですが、業務内容は多岐にわたり、私自身戸惑っているのですが、周りの方々の暖かく親切なご指導を頂きながら勉強している次第です。

早いもので二ヶ月が経ちますが、少しずつ学生さん達から名前を覚えられ、実験や学校生活を通じてアドバイスも出来るようになり、充実した日々を送っております。

何かとご迷惑をお掛けすると思いますが、一日も早く高専の雰囲気にも慣れ、仕事を覚えられるように精一杯努力していく所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

◎校内体育大会スナップショット  
(5月21日)



インフォメーション

これからの主な学校行事等

7月

東北高専体育大会 ……………5日～6日  
一関会場（陸上競技・バスケットボール・卓球・剣道  
テニス・ハンドボール・バドミントン）  
福島会場（バレーボール・ソフトテニス・柔道・硬式野球  
サッカー・水泳・ラグビーフットボール〔10月開催〕）  
専攻科入学試験（学力）……………8日  
終業行事……………18日  
1年～3年生保護者懇談会……………19日  
中学生一日体験入学……………26日  
科学の祭典……………27日

8月

全国高専体育大会（北海道地区）……………17日～27日  
エコロボコン……………20日  
編入学試験（推薦）……………21日  
始業行事……………26日

9月

期末試験……………22日～30日

10月

ロボコン東北大会（仙台）……………18日・19日  
高専祭……………25日・26日  
11月工場見学旅行（4年生）……………4日～7日

12月

寮生体育大会……………9日  
編入学試験（学力）……………17日  
終業（1～4年生）……………19日

1月

始業行事……………7日  
入学試験（推薦）……………25日

2月

卒業試験（5年生）……………5日～10日  
卒業研究発表会……………16日・17日  
学年末試験（1～4年生）……………19日～27日  
入学試験（学力）……………22日

3月

卒業式・修了式……………19日